

令和2年10月23日

南の風 368

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

367号の続きです。ドリブルのトリプルスレットは、ドライブからの攻めを多用する育成年代に、ぜひとも身につけてスキルの一つです。普段の練習から取り入れることをお奨めします。

スペインピック&ロールのプレーを続けて紹介します。

最初にトップのポイントガードのディフェンスにピックした選手は、367号で書いたようにスペースを取るようにカールカットでダイブします。(ユーザーから離れるように)さらにピックに行った選手のディフェンスにピックした選手は、ポップアウトしてトップの位置に上がります。

ここからは、攻めのバリエーションがいくつかあります。パススキルも含めて進めます。

トップにいたポイントガードは、二つのピックを利用してドライブで攻めます。その際、ドリブルのトリプルスレットを意識します。(367号で紹介した①~③)

ディフェンスの状況によってプレーを選択することになるのですが、パスプレーを取り上げます。

まずカールカットでダイブした選手へのパスは、ポケットパスやフックパス、オーバーヘッドが有効です。

- ◇ポケットパス(パッサーのポケットの位置からのバウンズパス)は、レシーバーとの距離が比較的短い時に使います。ノーモーションで出します。
- ◇フックパスは、パッサーよりのディフェンスが頭の上の空間をチェックしてきた時に、トルソーの外側から出します。
- ◇オーバーヘッドパスは、スクリーンに対してディフェンスがスイッチしミスマッチになった時や、ユーザーのディフェンスが横に手を広げてきた場合に出すパスです。できるだけモーションを素早くしてディフェンスの頭の上を通します。

次に、ピックの後ポップアウトしてトップの位置に上がった選手へのパスです。

ドライブで攻めたユーザーが攻めきれず、トップの選手にパスする場面では、ミスが多くなるので要注意です。自分を追いかけてきたディフェンスにカットされることや、レシーバーのディフェンスにカットされてしまうことがあります。特にミニバスや中学生の選手が侵してしまうミスです。

このポップアウトした選手へのキックビハインドパスは、瞬時にディフェンスの状態を把握して出さなければなりません。パスの種類としては、ピポットからの片手のプッシュパスや、モーションなしのオーバーヘッドパスが有効になります。

このほかにもスペインピック&ロールの崩しから、逆サイドのコーナーの選手へのパスも選択肢の一つです。ユーザーがドライブでペイントを攻めた時に、逆サイドのディフェンスがヘルプに来た場合は、空いたコーナーの選手へスキップパスを飛ばします。スキップパスは距離が長くなるパスのため、シチュエーション練習として取り組むことをお奨めします。特にミニバスの選手には丁寧に指導することが必要です。以上が、パスを含めたドリブルのトリプルスレットポジションからの攻め方です。